



ウッド・チェンジの取組について

(会員企業・団体の取組)

令和3年3月19日
ウッド・チェンジ・ネットワーク

もくじ

株式会社セブン-イレブン・ジャパン	2	前田建設工業株式会社	18
東急株式会社	3	三井ホーム株式会社	19
東京海上日動火災保険株式会社	4	三菱地所株式会社	20
日本土地建物株式会社	5	株式会社久慈設計	21
日本マクドナルド株式会社	6	株式会社日建設計	22
(公社)国際観光施設協会	7	ウッドソリューション・ネットワーク	23
SMB建材株式会社	8	(農林中央金庫)	
株式会社大林組	9	(一社)全国木材組合連合会	24
株式会社シェルター	10	(一社)中大規模木造プレカット技術協会	25
株式会社JM	11	(一社)日本林業経営者協会	26
住友林業株式会社	12	みなと森と水ネットワーク会議	27
株式会社竹中工務店	13		
東急建設株式会社	14		
ナイス株式会社	15,16		
ポラス株式会社	17		



ウッド・チェンジの背景

7&iグループでは、社会ニーズの変化や環境問題等、様々な社会環境の変化に対応する為、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定めています。木造建築は製造から建築までのCO2排出量が少ないという利点があると考えられており、又解体時の産業廃棄物の削減にもつながると考え挑戦しました。

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

20年度22店のテスト施工を実施
お客様にも木造店舗であることを実感して
いただけるように、一部木柱を見せる内装を実施
テスト施工により確認できた内容を基に
標準仕様化に向けて取組みを開始



関連情報

ニュースリリース：https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2020/13794.html

取組の効果

2×4工法以外でCVS建築に必要な大スパン、無柱空間の工法に
目途がついた

メディア等からの関心の高さを実感
一定の評価を頂けた



今後のチャレンジ

更なる検証を行う為、拡大実施
予定

ウッド・チェンジの背景

2017年着工の東急池上線池上駅改良および駅ビル開発工事が完了し、2021年3月下旬に「エトモ池上」が開業予定。開発計画においては、長年地元から愛された木造駅舎の記憶を継承すべく、旧駅舎の古材含めた木材の積極的な活用を行った。

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

■ 旧駅舎の古材の活用プロジェクト

「みんなのえきもくプロジェクト」として、長年地元の住民に愛された旧駅舎の古材「えきもく」を活用し、地域にお住いの住民向けにワークショップを開催したり、公共の場にベンチを設置したりといった活動を行っている。また、新しくできる駅ビルの共用部やテナントの内装にも積極的な活用を行っている。



旧駅舎の長ベンチ

街に広がった古材ベンチ

新しい駅ビルにも

取組の効果

- ・木材の再利用で環境負荷を低減
- ・歴史ある木造駅の記憶を未来に継承
- ・ワークショップの開催や日常生活で触れる場所に設置し地域に還元
- ・木材の積極的な活用により、上質な空間を演出し、木材の良さをお客様が体感

今後のチャレンジ

今後も木材活用などを通じて地域の皆様と連携し、愛される駅・沿線づくりを進めてまいります。

関連情報

みんなのえきもくプロジェクト

<https://ii.tokyu.co.jp/safety/ekimoku>

ウッド・チェンジの背景

木材利用の背景：「地方創生」への全社的な取組み

- 2016年7月に「地方創生室」を創設し、全社的な取組を開始
- 自治体等と協定を締結し、自治体等の地方創生の取組を支援

ウッド・チェンジ！

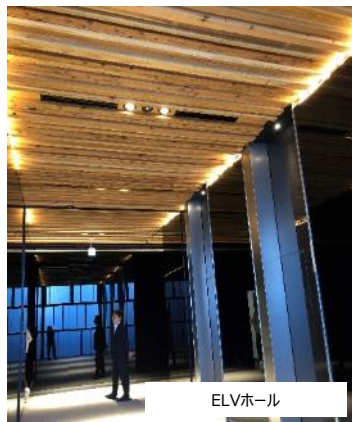
ウッド・チェンジ・アクション

地元国産材を活用したオフィスビル

熊本東京海上日動ビル



外観



ELVホール

2020年4月竣工



執務室

所在地：熊本県熊本市中央区水道町5番15号、延べ面積：8,002.74㎡、階数：地上7階 地下1階建、主な使用木材：スギ材、スギ集成材 等

ウッドデザイン賞2020受賞
(ソーシャルデザイン部門)

取組の効果



木質化オフィス 利用社員の声

- 木質化によりフロアを広々と感じることができ、**居心地の良さを感じる。**
- 暖かい雰囲気の中で働くことができ、**心が落ち着く。**

今後のチャレンジ

地方創生の取組みと共に、「木の良さ」の発信、木材利用促進を実行していきたい。

関連情報

東京海上日動火災保険株式会社ホームページ：<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

ウッド・チェンジの背景

SDGsへの取組や脱炭素社会実現に向けた企業活動の一環として「国産木材利用の促進」を図る

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

国産材を多く使用した大規模耐火木造建築物「特別養護老人ホーム ひまわり港南台」 設計：日本土地建物一級建築士事務所+（株）メドックス（2019年竣工、サステナブル木造先導事業として採択）が本年、中大規模木造建築物普及シンポジウム事例発表、COFI中高層木造建築デザインアワード入賞を果たした。



西新橋地区にて小規模オフィス（地上4階建て）をNLTや木材張弦梁などを利用した耐火木造で計画するも企画変更で中止に。

取組の効果

耐火木造の実績はいくつかの雑誌等にも掲載され、一定の取組アピールにつながった。



しかし完成形として木材が隠蔽されてしまう木造ツーバイフォー工法を採用しているため、木のぬくもりや木造のインパクトに欠けた。このことは今後木材の質感を最大限活かした建物の実現チャレンジへの機運を高めている。

今後のチャレンジ

新たな木造プロジェクトの創り込みや再開発事業における木質化の具体的な推進を図りたい。

関連情報

https://www.nittochi.co.jp/cre/report/pdf/CREsr_vol20.pdf

https://www.nittochi.co.jp/cre/report/pdf/CREsr_vol22.pdf



ウッド・チェンジの背景

林野庁が推進する「ウッド・チェンジ・ネットワーク」に賛同し、2019年から取り組んで得た情報や経験をもとに、マクドナルドの理念であるScale for Goodを店舗建設でも具現化しました

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

- ✓ LVL梁材を使用するなど、合理的な種々の構法を検証した
- ✓ 平屋建て店舗の標準を木造として、その店舗数を加速した
- ✓ 一部をピロティタイプの2階建にする等、建物タイプを増やした
- ✓ 外装装飾材を国産木材使用し、それを標準化した



取組の効果

工期・コストについては常に削減を追求しており、梁スパンの長くできる梁材を活用することで、柱数、基礎コストなどを削減している。構造部材や外壁装飾材に国産材を使用する建物の実例を増やすことで、関係者の理解を深めた。



今後のチャレンジ

総2階建て店舗の木造化を実施、国産材の使用方法、使用量を拡大するべく努めていく。

関連情報

Scale for Good : https://www.mcdonalds.co.jp/scale_for_good/

ウッド・チェンジの背景

当協会は2012年より「木づかい」をテーマに会員と共に国産木材の普及促進の活動を行ってきました。世界規模での森林減少による地球温暖化への取り組み、国内の林業や木工業の健全な発展を目指し実践する会員企業、(株)ワイスワイスの活動を紹介します。

ウッド・チェンジ!

ウッド・チェンジ・アクション



地域材活用と、地域との良好な関係構築

スターバックス コーヒー LINKS UMEDA 2階店は、店内に大阪府河内長野市産の木材をふんだんに使用。

お客様並びに店舗スタッフの方々との木質アートワークや林業地訪問を企画し、心の通う関係づくりを実践した。



フェアウッドの普及・啓蒙活動

国際環境NGO FoE Japan、(一財)地球・人間環境フォーラムと連携し2008年から開催している勉強会への参加者は延べ3000人超(計51回)。フェアウッドが当たり前の社会の実現を目指し活動中

取組の効果

日本各地(47都道府県)の魅力的な木材を地域内で製材、加工するワイス・ワイスの木材調達プラットフォーム。自然環境と地域社会に貢献するこの考えに、スターバックス コーヒー ジャパンをはじめとする、様々な企業、自治体が賛同し、活用を始めている。



今後のチャレンジ

「フェアウッドを常識に」を合言葉に、様々な企業、団体、自治体と繋がり、国産地域木材の利活用の輪を日本中に広げていく。

関連情報

<https://wisewise.com/>

<https://fairwood.jp/consultation/kenkyu.html>

ウッド・チェンジの背景

木質二方向ラーメン構造

中規模ビル「4階建事務所 全層木造架構」の取組

構造方法は「木質二方向ラーメン構造 GIR接合のサミットHR工法」を採用
GIR接合を採用することで、高剛性・高耐力の構造躯体とすることが可能
階層毎にGIR接合による柱継ぎ手を設けて、プラットフォーム工法を採用

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション



プラットフォーム工法
柱を階層ごとに分割し
GIR接合でjoint



- 建設地：鳥取県鳥取市 ■ 構造：サミットHR工法+サミットCLT工法
- 階数：4階 ■ 高さ：16.3m ■ 延べ床面積：1481.06m²
- 柱・梁（軸組）：カラムツ集成材 ■ 床・屋根：スギCLT
- 竣工予定：2021年8月（2月1日現在施工中）

取組の効果

- 初の木造4階建て2方向ラーメン構造を採用し、事務所建築の先進的事例となった。また建築基準法改正による準耐火建築物を視野に入れた取組となった。



活用事例による今後の普及が見込まれる

- プラットフォーム工法の採用
 - 下層階の次工程作業を許容できる
 - 施工床が構築され施工安全性向上



工期の短縮・施工性の向上

今後のチャレンジ

木を活かした「構造」「工法」「部材」の適材適所の使用で更なる「木」の利用拡大と技術提案を行ってゆく

関連情報

サミットHR工法：<https://summit-hr.com/>

ウッド・チェンジの背景

木の更なる利用拡大を目指し、利活用の方法のバリエーションを広げる。構造の形式から、内装仕上げ、家具・アート作品まで。

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

都市での大規模木造建築の実現

■ 11階建て耐火建築の施工

純木造・純ラーメン構造
研修施設の施工推進



■ ハイブリッド構造の竣工

S造等の他構造との組み合わせ



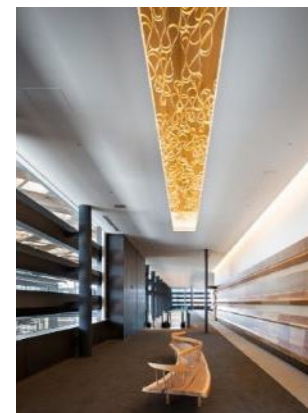
■ 木質の良さを多面的に訴求

地域産材の内装や家具・アート作品での利用

取組の効果

木材の使用量が最大となる難易度の高い**純木造**から、鉄骨との組み合わせによる**ハイブリッド構造**や、限定的な**部分での木造採用**を経験することで、豊富な選択肢の中から、多様なニーズに応えることが可能となる。

内装材での使用にも多様な手法を取り入れ、地元の若手アーティストともコラボレーションするなど、地域材の魅力発信にも寄与した。



今後のチャレンジ

施工性向上のための技術開発
木造適用の用途拡大を促進

関連情報

奈良県コンベンションセンター： https://www.obayashi.co.jp/works/detail/work_2462.html

ウッド・チェンジの背景

長年、大規模木造建築の普及を続けてきた。木質耐火部材の開発によって、高層ビルや都市部の防火地域の建物を木造化することが可能になり、全国各地でプロジェクトを推進している。

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

「高惣木工ビル」竣工

（設計・施工：シェルター）

- ・純木造7階建てテナントビル
- ・「製材」を束ね合わせた柱・梁を構造に使用
- ・国産の森林認証材を使用し
SGEC/PEFC-CoCプロジェクト認証取得

「ミナカ小田原」オープン

（木造部実施設計：シェルター）

- ・タワー棟と、日本最大級の木造商業施設
- 「小田原新城下町」からなる複合施設
- ・地域産材を活用し、小田原駅前に
江戸情緒あるまちなみを実現



©Blue Hours

取組の効果

高惣木工ビルは2020年9月の構造見学会、2021年3月の完成見学会を実施し、延べ2,100名の来場者があり、木造による中・高層ビル建築の関心の高さがうかがえた。国内初の製材による木造ビルを建てるというモデルケースを全国に広め、木材活用の可能性を訴えることができた。
ミナカ小田原は、観光客や地元住民が数多く訪れ、メディアにも取り上げられるなど、まちのにぎわいを創出している。

今後のチャレンジ

現在進行中の木造ビルや木造建築によるまちづくりのを実行し、ウッド・チェンジの実現を図る。

関連情報

【HP】 <https://www.shelter.jp/> 【Facebook】 @ShelterCorporation 【Instagram】 @shelter.jp

ウッド・チェンジの背景

弊社で日常メンテナンスしている多くの取引先の施設はRC造、S造が主流となっており木造・木質化が普及していない。初年度の活動から木造でも現状の施設に求められる要件を満足できる仕様も具体的に示された。国の脱炭素化・SDGsの実現を目指す方針が強く打ち出されたことをきっかけに各企業・団体も建物のライフサイクルの中で具体的な施策の検討が始まった。

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

前年度のワーキング活動を通して得られたネットワーク、情報を本年度(2020)木造店舗の設計・監理に携わる機会に活用し、設計・調達・施工・アフターサービスの各段階で実情が体感できた。



木造小売店舗施工状況



木造小型店舗施工状況

取組の効果

実務の過程で木造普及に必要な情報を以下の項目とした。

- ・顧客の要件を実現する工法・システムの一覧情報
- ・材の調達・加工先、納期の情報
- ・設計価格情報
- ・内外装のメンテナンス情報

これらを標準化してプラットフォームに載せることで生産性が向上。



木造小売店舗の3Dモデル

今後のチャレンジ

発注者に木造・木質化の情報を活用した提案をし、補助・助成制度を活用する等、具体的なプロジェクトにつなげる。その情報を開示することで、木造・木質化の普及に貢献する。

関連情報

株式会社JMホームページ : <https://www.matabee.com>

ウッド・チェンジの背景

「燃えない」「腐らない」「色が変わらない」木をつくることで、木材利用拡大を目指すだけでなく、木そのものが持つ、「肌ざわり」「香り」「色合い」を感じてもらうために、『生木』での利用を内外装、インテリア、外構に提案。

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

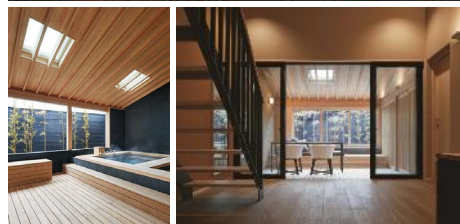
道後温泉 葛城 琴の庭 オープン ー 生湯と生木に触れる宿 ー

国の重要文化財である道後温泉本館の隣接地で、道後の歴史と文化を継承し、自然の恵みである木と温泉にこだわった「道後温泉 葛城 琴の庭」。

先代の創業者が、2階建の木造旅館をはじめた地にあらためて木造で新設。

建築コンセプトは、「生木(なまき)」。本物の手触りと香りを感じてほしいという思いと、源泉掛け流しの「生湯(なまゆ)」との共演をめざしました。愛媛県で育った良質な檜と杉の国産木をふんだんに使い、地産地消の文化も大切に継承しています。その木のもつ経年美化という考えのもと、私たちは「樹美色(ときみいろ)」の風合いと呼んでいます。

この施設が百年後に樹美色となり、道後の風格の一部として同化していくことを願っています。



建物概要

建築地：愛媛県松山市／延床面積：1,253.68 m²／構造：【別邸】準耐火建築・鉄骨造一部RC造・地下1階地上2階建、【離れ】木造・2階建／用途：ホテル(10室)／設計監修：住友林業株式会社／設計：ポールアーキテクチャ合同会社／施工：住友林業・BRC特定建設工事共同企業体／竣工：2020年4月

取組の効果

①できるだけ「生木(なまき)」を使って五感に訴える

→木の本質を活用し、その効果を検証。

②木が時間とともに価値が上がることを宿泊施設を使って検証

→売り上げを長く維持！さらにUP!?

今後のチャレンジ

木化事例の長期的効果測定による木の経済的効果を見える化。

関連情報

住友林業木化事業HP：<https://sfc.jp/mocca/>
道後温泉葛城琴の庭HP：<https://kotononiwa.jp/>



ウッド・チェンジの背景

ウッドチェンジに貢献する2020年の活動目標
キノマチプロジェクトで木の価値を広く、多くの人に伝える

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

“フラッツウッズ木場”でのキノマチプロジェクト活動の実施

まちづくり・森づくりの当事者たちが共に学び、共に事業をつくる活動（＝キノマチプロジェクト）をフラッツウッズ木場の建設工事を通じて開催しました。

フラッツウッズ木場体験会

森林ランドサイクルの実例を伝える体験学習型の見学会



見学会の様子



動画視聴

ノベルティ(山長商店)



キノマチ会議・大会議

木材産地、木材メーカー等を訪ねて課題を共有、次のアクションを起こす



キノマチ会議リアル版



キノマチ大会議

キノマチウェブ

キノマチプロジェクトの取組や先進的な活動等を紹介するウェブサイト



ウェブサイト例

キノマチハンドブック他

木の価値、有効活用 of 大切さを伝えるブックレット等を制作・配布



ハンドブック



ストーリーブック

取組の効果

“フラッツウッズ木場”の木材調達、木材利用でSDGsの実感

参加者の反響

- ・山の自然と林業にふれることで森林問題を身近に感じることができた（一般参加）
- ・木材調達の事例を通じて、木材利用によるSDGsへの貢献の可能性を実感（ビジネス）
- ・働き方改革、オフィス改革の手段としての木材利用への興味（ビジネス）



今後のチャレンジ

木材利用による社会課題解決、社会に貢献したいというニーズに応えていく取り組みを継続する。

関連情報

キノマチプロジェクト キノマチウェブ : <https://kinomachi.jp/>

facebookページ : <https://www.facebook.com/kinomachi.jp>

ウッド・チェンジの背景

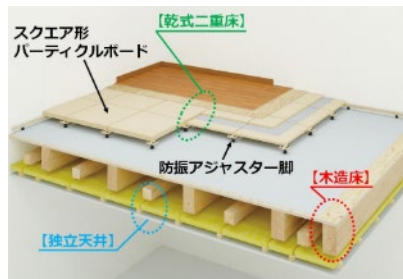
社会的な気候変動防止への取り組み
木造建築への関心の高まり

ウッド・チェンジ！

ウッド・チェンジ・アクション

技術開発

・木造用高遮音二重床
『SQサイエンス50』を発表



・木現しによる60分準耐火構造



環境活動

・事業活動を通じた植林・
緑化活動による環境貢献
活動への参加



取組の効果

技術開発

- ・木造用高遮音二重床
『SQサイエンス50』
LH-50 LL-35を実現
- ・60分準耐火構造大臣認定取得
大臣認定番号QF060CN-0008



新技術により中大規模木造建築に
関する提案の幅がさらに広がった

環境活動

- ・職員への環境学習及びボランティア
意識の醸成
- ・社内へのボランティア活動の展開

今後のチャレンジ

開発技術を基にコスト圧縮を図り
中大規模木造建築の普及に努める

関連情報

モクタスホームページ : <https://www.tokyu-cnst.co.jp/moctas/>